

Grand Toit News

mini

vol. 63
Autumn 2020

Grant News

島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM
いわみ芸術劇場
IWAMI ARTS THEATER

企画展紹介「故郷に遺された島根の宝、
『永田コレクション』」

劇場事業紹介「たたく・つながる」

今福優 和太鼓アウトリーチ in 島根県立浜田ろう学校

- LIFE with Grant
- 美術館にきてみよう
- 劇場を探る
- Grantへの道

おかげさまで
15周年!



《富士三十六景 颯風快晴》【前期展示】

故郷に遺された島根の宝、 「永田コレクション」

島根県津和野町出身の北斎研究者、故永田生慈氏(1951-2018)の北斎コレクションが、2017年度に島根県へ一括寄贈されました。今回は「永田コレクション」について、島根県立美術館(松江市)で浮世絵を担当している専門学芸員、大森拓土さんにお話を伺いました。

「永田コレクション」とは、どんなコレクションですか？

このコレクションの特筆すべき特徴として、北斎の70年に及ぶ画家人生(デビューした数え20才から亡くなる90才まで)を概観できる点が挙げられます。北斎の人生は6つの時期に区分されますが、その各期の代表作を含め、北斎が手がけたあらゆる分野、画題の作品をきめ細かく網羅しています。起伏に富んだ北斎の人生を、一つのコレクションだけで迎えられるのは大変稀有なことです。それも保存状態が良い初摺の逸品や、世界で1点しかない貴重な作品も少なくありません。北斎の門人の作品も含めると、コレクションの総数は2,398件。北斎に特化した個人コレクションとしては世界屈指の規模を誇ると言えるでしょう。

永田コレクションには、津和野藩のお殿様のコレクションも含まれているそうですね!それはどんなものですか?

「津和野藩伝来摺物」と呼ばれるものですね。摺物とは、版元が一般向けに販売した版画(錦絵)とは異なり、主に裕福な趣味人らが出資して作った非売品の版画です。多くは高級な紙や絵の具を使い、彫りや摺りもこだわって作られています。仲間内で配り合ったことから、時にフォトアルバムのように多数の摺物をまとめた「摺物帖」が

作られました。津和野藩主亀井家にもそんな摺物帖が伝わり、その中の北斎に関する摺物144件が永田コレクションに収められています。いずれも抜群に保存状態が良く、制作当初の美しい色彩を見ることができますよ。

北斎は今や世界中で大人気ですよ!多くの人を虜にする北斎の魅力は、どこにあるのでしょうか?

確かに、北斎は欧米を中心にとても人気があります。近年開催されたパリとロンドンの北斎展はいずれも大盛況で、特に永

田先生が監修したパリの展覧会では36万人もの来場者数を記録しました。その人気の理由として、例えば、奇抜な発想力、緻密で的確なデッサン力、または森羅万象を描き尽くしたバイタリティーなどが挙げられるかもしれませんが、永田先生は生前、北斎の生き様が世界中の人々を魅了する、と語られていました。北斎は90年の生涯を閉じるまで、常に新しい表現や分野に果敢に挑戦しつづけた画家です。自分の可能性を追求し、過去の自分を超越しようとする、その自己変革を目指す生き方に、多くの人は惹かれるのかもしれない。

今年の9月末から、石見美術館でも待望のお披露目展があります。最後に石見の方々にメッセージをお願いします。

2019年初春に松江の県立美術

館で寄贈後のお披露目展を開催しました。実は同じ時期に永田先生が生前最後に監修された大規模な北斎展が東京であり、そちらへ貸し出したため、残念ながら出品できなかった名品や新発見の作品がありました。今度の石見美術館のお披露目展では、そんな松江では展示できなかった名品、島根初公開となる貴重な作品が多数展示されます。津和野出身の永田先生が故郷に遺してくださった素晴らしい作品の数々を、地域の宝として、皆さまに誇りに感じていただければ幸いです。



《文鳥星図》【前期展示】※掲載作品はすべて島根県立美術館蔵(永田コレクション)



《薩州(吉野山)北斎(津和野藩伝来摺物)》【前期展示】10月29日、11月9日

受贈記念
澄川喜一

島根県出身の彫刻家・澄川喜一の作品が寄贈されたことを記念して、新収蔵作品から厳選して展示します。

2020 9/10(木) >>> 11/30(月)

[開館時間] 9:30~18:00 (展示室への入場は17:30まで)
[休館日] 毎週火曜日(ただし11月3日は開館)、11月4日(水)
[観覧料] 一般:300(240)円、大学生:200(160)円
高校生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金
※各種障がい者手帳をお持ちの方およびその介助者は入場無料
[主催] 島根県立石見美術館 [後援] TSKさんいん中央テレビ

島根県立石見美術館
島根県芸術文化センター「Grant」内

展 H O K U S A I

（そのあるかたち05）2005年

開館15周年記念 永田コレクション名品展

企画展 **北斎**

【開館時間】 9:30~18:00 (展示室への入場は17:30まで)
【休館日】 毎週火曜日(ただし11月3日は開館)、11月4日(水)
【観覧料】 当日券/一般:1,000(800)円、企画・コレクション展セット 1,150(920)円
大学生:600(450)円、企画・コレクション展セット 700(530)円
小中高生:300(250)円、企画・コレクション展セット 300(250)円
前売券/企画・コレクション展セット 900円
※()内は20名以上の団体料金 ※小中高生の学校利用は入場無料
※各種障がい者手帳をお持ちの方およびその介助者は入場無料
※前売券は、ローソン各店(コード61573)、Grant総合案内カウンターでお求めいただけます。
[主催] 島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、山陰中央新報社、TSKさんいん中央テレビ
[特別協力] 島根県立美術館 [協力] 津和野町/津和野町教育委員会 [後援] 芸術文化とふれあう協議会

島根県立石見美術館 島根県芸術文化センター「Grant」内

beyond 2020

9/26(土) >>> 11/23(月)

前期 9月26日(土) >> 10月26日(月)
後期 10月28日(水) >> 11月23日(月・祝)

展 H O K U S A I

（前期展示）天保初期「330」34冊、「前期展示」島根県立美術館蔵(永田コレクション)

しまね伝統芸能祭の地域交流プログラムとして、2019-2020年度に継続して実施している今福優和太鼓アウトリーチ in 浜田ろう学校の取り組みを紹介いたします。

「たたく・つながる」

和太鼓体験で笑顔になる子どもたち

島根県益田市匹見町を拠点にして国内外で活躍する太鼓打ちの今福優さん。2019年度、グラントワでは「しまね伝統芸能祭」の地域交流プログラムの一環として、今福さんと今福座メンバーの堂本英里さんによる浜田ろう学校での和太鼓アウトリーチを実施しました。

日本の伝統楽器である和太鼓に親しむと同時に、今福さんとの出会いをきっかけに精一杯自分を表現する大切さを体験してもらうことも今回のアウトリーチのテーマのひとつで、事前に児童一人ひとりの個性や普段の生活の様子を確認したり、今福さんの伝えたいことや先生が子ども達に感じてほしいことを話し



合いも行った上で体験授業をスタートしました。

最初は緊張気味だった子ども達もすぐに楽しめるようになり、次第に取り組みに真剣さが出てきました。気分的に参加しづらい子もいましたが、今福さんや先生の声掛けで少しずつ距離が縮まり、太鼓の前に立つことができました。

最終回では、それまで練習してきた『生命の詩』(作曲/今福優)を発表用の衣装を着て先生や中・高等部生の前で披露しました。ソロパートや合同部分もやりとげ、「緊張したけどまたやりたいです」と感想をくれた子ども達の顔は晴れやかで、きっと今福さんが伝えなかった精一杯自分を表現する大切さも感じられたのだと思います。

今年度も実施予定です!

2020年度、グラントワでは再び和太鼓体験授業を浜田ろう学校にて実施予定です。去年より少し成長した子ども達との繋がりを大切にしながら、和太鼓を通じて日本の伝統音楽の楽しさと、自分を表現する大切さを深めていってほしいと考えています。

子ども達の聞こえ方に個人差はありますが、今福さんと一緒に和太鼓を打つ楽しい気持ちがそのまま音や振動となり、子ども達それぞれの心と体に響きわたっています。ひょっとするといつか今福さんと一緒にステージに立ち、和太鼓を通じて自分を表現する日が来るかもしれません。そんな未来を想像しつつ、より充実した体験の場をつくりたいと考えています。



LIFE with グラントワ

芸術文化でつながるご縁

島根県内で継承されている伝統芸能を公演や映像で発信し、その魅力を伝える「しまね伝統芸能祭」が2020年9月からグラントワを皮切りに開催されます。今回、そのHP作成と映像コンテンツの撮影・編集を担当することになり、只今、4Kカメラを片手に島根県内を巡って郷土の伝統芸能を記録しています。隠岐の島の「島前神楽」や出雲市埴田神社の「青獅子舞」、松江市佐太神社の「佐陀神能」など、私にとっては初めて目にする

舞も多いのですが、現場に入るといつも懐かしい気持ちになります。益田市出身の私にとって郷土芸能と言えば「石見神楽」。もしかしたら、県内各地の伝統芸能と石見神楽が重なって懐かしさを感じるのかも知れません。また、昨年開催されたフランチイズ10周年記念コンサートでは、各団体の活動風景の映像撮影も行いました。それぞれの団体に皆さんがいきいきと活動されていたのがとても印象に残っています。

石見地域に息づく伝統芸能から幅広いジャンルの文化事業を展開するグラントワと連携し、これからも映像を通じて文化芸術の魅力を発信していきたいと思っています。

[スタジオヤング 大武英樹]

みさき美術館に ようこそ

展示室に設置されている毛髪式湿度計。吸湿・脱湿により伸縮する毛髪の性質を利用して測定します。



美術館は作品を展示・保存し、後世に伝えるための拠点です。その保存方法について、美術館学芸員にきいてみました。

Q1. なにが作品の害となるのですか？

湿気・乾燥、カビや虫、太陽や照明の光線・熱、空気中のガスといった、身の回りで当たり前存在するものです。そして地震や台風などの自然災害で、作品が破損・水没の被害を受けることもあります。

Q2. どんな保存対策をしていますか？

適切な温湿度管理や照明の調整、紫外線の遮断などの対策をしています。また、しばらく展示した作品にはカビや虫がついている可能性があり、そのままでは収蔵庫に戻せません。そのため、窒素を使った低酸素濃度の殺虫処理も行っています。

劇・場・を・探・る



舞台用語④
【板付き】

幕が上がる前や照明が入る前の舞台に役者がスタンバイしている状態を「板付き」と呼び、開始直後に台詞がある芝居やイントロが短い歌などの演出として多用されます。いわみ芸術劇場では『次の曲のスタートは暗転板付き(暗転中の板付き)です』といったように、スタッフ間のやり取りで頻りに使われる言葉です。

今回は「舞台用語⑤」です。

グラントワ通への道

Q. グラントワのホールには、どんなピアノが置いてあるの？

A. 1年1点手作りで、完成まで1年以上かかる「スタインウェイ」のフルコンサートグランドピアノが2台、「ヤマハ」のグランドピアノが1台のほか、アップライトピアノ、電子ピアノが備え付けてあります。ホールやスタジオをご利用の方には、有料にて貸し出しを行っています。



島根県芸術文化センター 共通カード



一般(税込) 4,000円	大学生(税込) 3,000円	小中高生(税込) 2,250円
------------------	-------------------	--------------------

石見美術館の「ミュージアムパスポート」といわみ芸術劇場の「ホール友の会」の両方の特典を兼ね備えたお得なカードです。※有効期限は購入月の1年後の月末です。

石見美術館 ミュージアムパスポート + いわみ芸術劇場 ホール友の会

新規入会特典▶グラントワシアター招待券を1枚進呈します。

いわみ芸術劇場 ホール友の会



年会費(税込) 2,000円

主催公演のチケットを先行予約・購入できます。

特典 ●先行予約案内・毎月情報誌のお届け ●グラントワ提携店での優待サービス

新規入会特典▶グラントワシアター招待券を1枚進呈します。

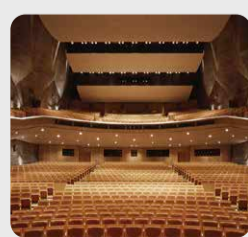
石見美術館 ミュージアムパスポート



一般(税込) 3,000円	大学生(税込) 1,800円	小中高生(税込) 900円
------------------	-------------------	------------------

石見美術館の企画展とコレクション展を何度でもご覧いただける年間観覧券です。

- 特典
- 提携美術館*の観覧料割引 ※県内外18施設(2020年8月1日現在)
 - グラントワ提携店での優待サービス
 - 「石見美術館ニュースレター」等のお届け
 - 更新後の有効期間を一カ月間延長!



島根県立いわみ芸術劇場 国の最新の基準を満たし、大規模な地震に対してお客様の安全を確保するため、以下の期間について、大ホール・小ホールの客席および大ホールホワイエ天井の耐震改修工事を行います。ご迷惑やご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

工事期間

2021年11月初旬~ 2023年4月末まで

※工事期間は予定です。工事状況ほか諸事情により変更になる場合があります。 ※工事の状況によっては、その他のエリアについても短期間の利用休止になる場合があります。 ※最新情報ほか、詳しくはグラントワホームページ等でお知らせします。